

# わくわくぽんぺツ

HONBETSU COMMUNITY PAPER WAKU WAKU PON-PET

JAや農畜産物をもっと身近に！  
JAと地域の皆様をつなぐ情報紙です！



大豆の収穫前（枝豆）



ほんべつ豆まかナイト「激！豆まき！」の様子

今号のテーマ  
本別町産の  
大豆について

## 1/28に開催された 『ほんべつ豆まかナイト』

「日本一の豆のまち・本別町」では、今年で9回目の開催となる節分イベント「ほんべつ豆まかナイト」に町内外から1,200人が訪れました。会場では特産品の豆をPRする様々な催しや農産物の無料配布のほか、メイン・イベントの「激！豆まき！」では総重量2トンの豆が来場者に配られ、特設ステージに次々と登場する「鬼」にめがけて飛び交う「本気の鬼退治!!」を楽しみました。



本気の鬼退治「激！豆まき！」  
（JA青年部も「牛」の仮装で登場）



JA青年部考案の豆と一緒に滑る「豆スライダー」



来場者に豆とゴーグルを配布

## YouTube

十勝観光連盟のYouTubeチャンネル「北海道十勝PRチャンネルとかちゅーぶ!」で、当JAの加工品「Mame Manma・まめまんま」を使ったアレンジレシピ対決が公開中です！ぜひご覧ください！



ここからアクセス！



JAでは消費者の皆さんに **本別町産の“豆”を手軽に** 食べていただけるような商品開発に取り組んでいます。

Mame Manma

豆をそのまま食べること、ご飯のことを「まんま」という習慣があるので、**まめまんま**となりました！

大豆の  
加工品  
ラインナップ



本別町産大豆を使用した大豆ミートと本別町産の豆を使ったパスタソース「煙のお肉のポロネーゼ」



お米と一緒に炊くだけ！  
「大豆の洋風炊込みごはんの素」



大豆100%のノンフライチップス「SOYKARI（そいかり）」



本高生が考案♪本別町産の豚肉と黒豆で「本別の夜空」をイメージした黒いキーマカレーの「カレーデナイト」



みんな大好き！大豆のくん製「だいずくん」



豆の旨みと香ばしさがたまらない！止まらない！小腹が空いた時に最適な「焙煎黒豆」「焙煎大豆」





# 本別町で生産されている大豆についてご紹介します。

国産大豆の作付面積は、北海道が1位!! (約43,200ha)  
2位は宮城県(約11,900ha)、3位は秋田県(約9,420ha)

※「農林水産省JHPの面積調査より」

令和4年度に本別町で作付けられた大豆の面積は約680haで、103戸の農家さんが大豆を作っていました。  
※1haは、100m×100mの面積だよ



## 大豆とは?

大豆は「マメ科」の一年生の植物です。他の植物に比べて、マメ科の種子は大きく、皮が厚くて、保存がきくという特性を持っているため、昔から食用として育てられていました。大豆は世界で約2万種類あるといわれていて、日本国内では約120種類の品種が農林水産省に登録されています。

## 大豆はどんな作物?

北海道の大豆は、全国の約4割の生産量を占め、畑作物の輪作体系に欠かせない作物です。輪作とは、1つの畑でいくつかの作物を順番に繰り返し栽培していくことです。同じ作物を同じ畑で作り続けると、地力の低下や病害虫の発生が多くなるので、翌年は違う作物を植えます。本別町の畑でも、小麦、ビート、豆類、馬鈴しょの畑作4品が順番に植えられています。本別町で栽培されている大豆は、黄白色～黄色の「黄大豆」、淡黄緑色～濃緑色の「青大豆」、黒色の「黒大豆」などです。粒の大きさに大粒品種と小粒品種に分けられ、それぞれの特徴を生かした加工食品に利用されています。



## 大豆はとっても変身しようぞう

大豆は、肉と同じくらい良質なタンパク質や脂質をたくさん含む栄養価が高い食材で、「畑の肉」とも言われています。日本では弥生時代から栽培されており、大豆から作られる様々な食品や調味料の中でも、みそ、しょうゆ、豆腐は和食に欠かせない食べ物です。

### 大豆からできる加工食品



本別発・豆ではりきる 母さんの会

自分たちの育てた大豆を使って、豆腐や油あげなどを作って販売しています。秋のお祭りでは、名物の「おからドーナツ」も販売しているよ!



## 栽培スケジュール

本別町では、町内の若者が中心となって、特産の豆を使った節分イベント『ほんべつ豆まかナイト』を開催しています。イベントの豆は前年に使用したものをきれいにしたり、大豆農家さんに提供を呼びかけたりして用意していましたが、食育の観点から「豆の植え付けや収穫を通して、大豆がどのように生産されるのか」を子ども達に学んでもらおうと、JA青年部と町商工会青年部の共同事業として、2017年に「まく豆作ろうぜプロジェクト」を立ち上げました。畑はJA青年部員が提供し、「鬼退治専用大豆育成地」の看板を設置しました。5月下旬に手作業での植え付けを。10月下旬に収穫体験として、豆刈鎌を使っての刈取り、ニオ積み、脱穀をしました。その時の様子をご紹介します。

### 播種 (5月中旬)



7日から10日ほどたつと...



ペットボトルで間隔を測り、キャップ部分で穴を空けて2粒ずつ植えました



参加者で記念撮影♪  
畑は国道沿いにあるので、通行の際、大豆の生長を道路から見るができます

### 発芽 (かわいい芽だね!)



### 管理作業 (病気や害虫対策など)



大豆の葉は丸みを帯びています

### 8月下旬 (枝豆として収穫できます)



乾燥が進むと収穫時期です

### コンバインでの収穫 (10月下旬～)



### 収穫体験の様子



カラカラですょ!

### 本別町で栽培している主な品種

- 黄大豆...ユキホマレR 433ha
- 青大豆...音更大袖 3ha
- 黒大豆...いわいくろ 17ha



### ニオ積みの様子